



宮司プレス 第四百四十四号

彦島八幡宮 宮司 ニュース  
発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和元年 五月三十一日

◇宮司の柴田です。 お待たせしました、宮

司プレス第四百四十四号、令和元年初めての発行となりました。 天皇陛下におかせられま

しては、五月一日に踐祚（せんそ）され、改元となりました。 踐祚（せんそ）とは、天

皇の御位（みくらい）におつきになることでもあります。 そして、十月には「即位の礼」、

国民に広く御即位されたことを宣言される諸儀式が行われます。 さらに、十一月には、

天皇陛下が御代替り毎（ごと）に行われる、「大新嘗祭（だいにいなめさい）」ともいえる

「大嘗祭（だいじょうさい）」が斎行されます。 本年は、日本の国にとりまして、最も

重要で、大切な重儀（じゅうぎ）が斎行（さいこう）される年となります。 私共は、神

様から与えられた時間を共有（きょうゆう）しているのですが、まさに、「天の時」であります。 しかも、その時間は、宮司プレスの

既刊号（きかんこう）にも詳述（しょうじゆつ）（しようじゆつ）致しましたが、御即位された今上陛下（きんじょうへいか）と共有できる新しい元号、

「令和」という新しい時間座標軸（じかんざ）

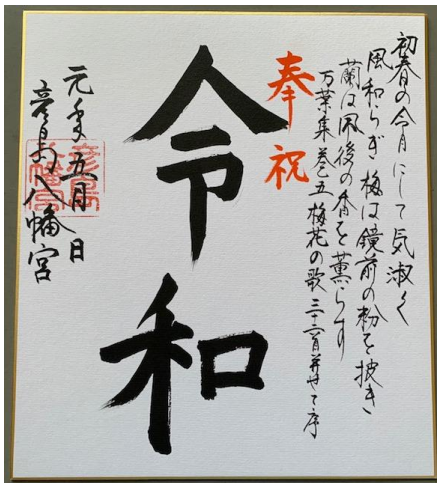
ひょうじく）なのであります。 私は、先月の三十日から今月の一日にかけて、ホームセンターを梯子（はしご）しまして、色紙を買

い求めました。 その数、三十枚であります。「令和」の出典を浄書（じようしよ）させて

頂きました。 今は亡き、私の習字のお師匠（ししよう）さんである三輪惠泉先生から、

御指南（ごしなん）された、特に「左はね」を意識しながら、真心込めて浄書しました。

初春の今月にして気淑く、  
風和らぎ梅は鏡前の粉を披き、  
万葉集巻五梅花の歌三言并せて序



出典（しゆつてん）は、万葉集（まんようしゆ）

巻五に、九州の大宰府（ださいふ）で、天平二七三〇）年正月十三日に開かれた梅花（ば

いか）を賞（め）でる宴会において、三十二人の官人（かんじん）たちが詠（よ）んだ和歌と、その冒頭に序文が収められています。色紙の冒頭（ぼうとう）部分です。その序文は、大宰帥（ださいのそち）の大伴旅人（お

おとものたびと）か筑前守（ちくぜんのかみ、知事）の山上憶良（やまのうえのおくら）の作だそうです。「初春のよき月、おたやかで、梅は、おしろいのように白く咲き、欄は

句（にお）い袋のように香（かお）っている」という意味です。 宴会の状況が、的確に描かれて

ています。 この文中にある「令」と「和」を組み合わせて「令和」という元号ができたのです。 梅は、中国伝来であります

が、日本各地で、旧暦の一月の春先に花が咲き、何より香りが芳（かぐわ）しいのです。 古きより、「梅は寒苦を経て清香を発す」とい

われますが、前述の大伴旅人をはじめ三十二人の官人たちは、それぞれの様々な思い、忸怩（じくじ）たる、あるいは、九州に流された

無念の思いを抱きつつも、和（なご）やかに時をすごしています。 その「たゆたふ、ゆらゆらゆらめく様々の思い」と共に、時間が

静に流れているのです。 私は、「令和」を「雅（みやび）な余裕」ととらえたいと思

います。 評論家の福田恒存さんは、「昔はあったのに今は無くなったものが落ち着き、昔

は無かったが今あるものは便利である。昔はあったのに今はないものが幸福であり、昔は無かったが今あるものが快樂である。幸福というのは落ち着きのことであり、快樂とは便利のことであつて、快樂が増大すればほど落ち着きが失われる。」と述べられています。和氣致祥(わきちしよう)という言葉があります。が、どんなに苦しく辛(つら)くても、和やかな明るい気持ちを持ち続け、何事にも対処(たしよ)すれば、必ず、幸せになるという意味です。現代社会に生きる我々は、便利さと効率ばかりに傾倒(けいと)しがちです。しかしながら、「雅な余裕」、今というかけがえない瞬間に、真心を向けて生きていくことを心掛けることが大切ではないでしょうか。時にはたちどまり、未来を見据える「ゆとり」こそが、落ち着きで、幸福への道になるのではないのでしょうか。「令和」は、まさに、美しい日本でもあります。平成は、天然の無常ともいふべき天災の多かった時代でした。しかし、その苦難をみんなの助け合いで乗り越えてまいりました。さらに、これからも、「雅な余裕」で、「今、ここ」に真心をこめて、心を寄せ合い助け合い、運命共同体としての地域社会が構築(こうちく)されることを願うものです。ご自愛をお祈り申し上げます。

◇四月の祭典行事会議等活動報告

- ▼月次祭 \*四月一日、十五日
- ▼貴布禰神社月次祭 \*四月一日
- ▼竹の子島金刀比羅宮例祭 \*四月七日
- ▼荒神社例祭 \*四月九日
- ▼船寫神社例祭、佐々木小次郎劍客大人命慰靈祭 \*四月十三日
- ▼戦没者慰靈祭 \*四月十五日
- ▼昭和祭、天皇陛下御讓位安泰祈願祭 \*四月二十九日
- ▼八幡宮関係団体
  - ◆維蘇志会会計監査、役員会 \*四月一日
  - ◆維蘇志会総会 \*四月四日
  - ◆船島神社例祭奉納グランドゴルフ大会 \*四月二十一日
- ▼山口県神社庁、同下関支部関係
  - ◆山口県神社庁下関支部幹事会 \*四月十二日
  - ◆山口県神社庁役員会 \*四月二十二日
  - ◆教誨活動、美祢社会復帰促進センター
  - ◆刑務執行時指導(女子) \*四月三日
- ▼下関西ロータリークラブ
  - ◆例会 \*四月十七日
- ▼その他
  - ◆下関木鶏クラブ \*四月二日
  - ◆下関市中央倫理法人会経営者モーニングセミナー \*四月四日
- ◆迫町組合長会議 \*四月二十七日

◇五月の祭典行事会議等活動報告

- ▼月次祭 \*四月一日、十五日
- ▼貴布禰神社月次祭 \*五月一日
- ▼天皇陛下御即位奉告祭 \*五月三日
- ▼塩釜祭 \*五月三日
- ▼福浦金刀比羅宮例祭 \*五月十八日、十九日
- ▼八幡宮関係団体
  - ◆奉賛会総会 \*五月二十四日
  - ◆敬神婦人会総会 \*五月二十六日
- ▼山口県神社庁、同下関支部関係
  - ◆山口県神社庁天皇陛下御即位奉告祭、教化部代表者会議 \*五月二日
  - ◆神社庁役員会 \*五月十六日
  - ◆中国地区社頭講話研修会 \*五月二十八日、二十九日
- ▼教誨活動、美祢社会復帰促進センター
  - ◆集合教誨(女子) \*五月二十日
  - ◆集合教誨(男子) \*五月二十七日
- ▼下関西ロータリークラブ
  - ◆例会 \*五月八日、十五日、二十二日
  - ◆講演活動
    - ◆廣旗八幡宮祖霊祭講演 \*五月十八日
    - ◆下関市中央倫理法人会経営者モーニングセミナーにて講演 \*五月九日
    - ◆人権擁護委員としての人権相談 \*五月九日、五月三十一日